











奈良仏師康朝の子成朝が招かれて鎌倉に入  
ったのは、(一一八九)文治五年五月二十一  
日であらう。同じ頃、運慶も鎌倉に下向したの  
で、その男性的な量感豊かな  
作品が、新しい時代を作りつつあった武風  
の好みに合っている。豪壯で躍動的な独自の作風  
をつくって、いくつもの躍動的な独自の作風  
をおそらく、兄弟弟子であったと見られるの  
が、快慶である。兄弟弟子であったと見られるの  
「快慶の作品が世にあらわれるのは、果  
(一一八九)文治五年九月興福寺  
の作品が世にあらわれるのは、果  
快慶の作品が世にあらわれるのは、果  
快慶の作品が世にあらわれるのは、果

「巧匠安阿称陀」の銘が墨書されていま  
うと、思われ、この頃、建久年間、南都東大  
寺、興福寺の再建事業の勸進をして、いた  
俊乗、房重、法然、浄土宗に帰依して、自  
南無阿彌陀仏、然、浄土宗に帰依して、自  
教、無阿彌陀仏、然、浄土宗に帰依して、自  
称、陀、受、けた、人々、は、その、念、仏、を、す、め、自、ら、  
快慶も重源と銘乗ること、が、多、か、つ、た、の、で、す。  
「快慶も重源と銘乗ること、が、多、か、つ、た、の、で、す。  
「快慶も重源と銘乗ること、が、多、か、つ、た、の、で、す。  
「快慶も重源と銘乗ること、が、多、か、つ、た、の、で、す。

図書室

しあんない

公民館図書室には、いま、一〇七冊の本を所蔵  
しております。古い本もありますが、毎年購入し  
新しい本も沢山備え、皆さんの利用をお待ちして  
おります。  
利用の方法は、  
由良の里センターが開いている時間でしたら  
いつでも借りられます。  
貸出は、一人一回に 三冊まで  
期間は、二週間以内です。  
子どもが、本ずきな子になって、ものをよく見  
、考える子にそだってほしいと思ふとき、それに  
は、お父さん、お母さんの本を読む姿を子どもに  
みせることが一番いいと言います。  
それに、読書は、若返り、美容にも役立つそ  
うですよ……

○近く新しい本を購入する予定です。  
ご希望の本ありましたら お知らせください

